

介護老人保健施設



利用者さんの笑顔を励みにスタッフ一同頑張っています。

滋賀病院附属介護老人保健施設の目的は「在宅復帰」とし、滋賀老健の理念は「少しでも元気になり望む場所で過ごせるようにする事」です。

サービス内容としては、在宅で過ごされている方が、リハビリ・入浴・食事を目的に利用される「デイケア」と家庭生活復帰へのリハビリを目的とし一定期間施設生活をされる一般入所があります。また、在宅サービスとして「介護負担の軽減」等を目的としたショート利用（短期間）があります。

デイケア・ショートの利用対象者は介護度区分により利用できるサービスに多少の違いはありますが、要支援1から要介護5までの方が対象となり、一般入所者は要介護1から5の方が対象となります。基本的には「生活する事がリハビリ」という考え方で、食事をする為に食堂へ移動する、排泄の為にトイレに行く、テレビを見るためにテレビのある場所まで移動する、朝・晩の着替えをする。といった、目的を果たす為に「行動する」事が必要な環境になっています。日課に合わせ、職員が行う毎日のレクリエーションや月毎のお誕生日会、ボランティアの協力による季節のイベントも開催しています。

居宅介護支援センター

私たち居宅介護支援センターは、平成30年7月から新たにケアマネジャー1名が加わり、介護支援専門員（ケアマネジャー）2名、補助職員（事務員）1名の計3名が在籍し、「お断りしない」を合言葉に心機一転・一致団結して元気に活動しています。

具体的にはJCHO 滋賀病院、附属介護老人保健施設、附属訪問看護、通所リハビリテーションと連携し、入院患者さんが在宅に戻って適切な介護サービスや医療が受けられ、健康でその人らしい生活が送れるようそのお手伝いをさせていただいています。まさに、ケアマネジャーがパイプ役となり、介護に関するあらゆるご相談に応じ、介護サービスのトータルサポートを行なっています。

また、介護保険の制度に関する研修会や地域のケア会議、事例の検討会等にも定期的に参加し、自己研鑽に努めています。

まだまだ未熟な事業所ではございますが、在宅支援・在宅復帰の地域拠点として当法人の運営に貢献できますよう努力して参る所存です。

今後ともよろしく申し上げます。

私たちが大切にしていること。

- ①地域への貢献
- ②病院から在宅への退院支援の協力
- ③病院、施設、訪問看護、通所リハビリテーションとの連携
- ④行政機関、他病院、他事業所との連携
- ⑤勉強会、研修会等への積極参加
- ⑥介護保険関係法令の遵守



訪問看護ステーション



スタッフ紹介

スタッフは看護師5名で、病棟から異動してきた30代から看護歴〇〇年のベテランまで、若い力&経験豊富な知識・技術を生かして毎日仕事をしています。常に笑いが絶えない明るいスタッフです。

平成29年5月に滋賀病院附属訪問看護ステーションを開設しました。毎日、合言葉にしていたことは「利用者さんが在宅で生活できて良かった！！と感じていただけるような看護を提供したいね」です。開設当初の利用者さんは40名。今現在は80名と増え地域に必要とされるステーションとなりました。

昨年6月に大津市より在宅医療・介護支援業務の委託を受けることになりました。疾病等を抱えても住み慣れた環境で安心して暮らし続けたいという多くの市民の希望を叶え、看取りまで切れ目のない医療サービスを提供するための在宅医療と介護連携を進め、市民の保健福祉の増進と地域ケアシステムの構築に資することを目的としています。

在宅で生活されている患者さんが、自身を大切に、希望を見出せるように関わり、自宅で安心して過ごせるように、全力で看護を提供していきます。どんな時も毎日タンポポのような笑顔で、「あの人に会うと心が温まる」という看護師を目指し頑張ります！！